

りんご・きのこ・うどんの里



編集・発行

篠井地区ゆたかなまちづくり協議会(市民センター内)
〒321-2105 宇都宮市下小池町466番地1
電話:028-669-2515 FAX:028-669-2972
http://shinoiweb.kuron.jp

第26回篠井うどんまつり 3月10日(日)に開催 会場:篠井地区市民センター

うどんまつりは、毎年3月の第2日曜日を特定日として今年も3月10日に実施します。

篠井の食文化である手打ちうどんの継承と地域を元気づけることで実施しておりますが、毎回好評で来場者も多く篠井の知名度・イメージアップには欠かせないイベントとなっております。

まつりではうどん早食い競争、天ぷらうどん販売、手打ちうどん体験教室がメインで、篠井伝統の味噌汁と一般的な醤油汁を用意しますので、好みのもので召しあがって下さい。

また、多くのブースを配置し模擬店や無料配布・相談コーナーを設け模擬店利用者には、抽選券を配布し大抽選会を行う他、さんらく太鼓・アフリカンダンスのアトラクションもあり、楽しい一日を過ごせるものと確信しています。

結びに、このイベントを成功させるために、多くの皆様のご来場を切にお願い申し上げますと共に、開催に携わる関係者の皆様には、ご理解ご協力を賜りたく宜しくお願い致します。
文責 平野 勝



篠井の秋まつり・文化祭を開催しました

11月3日(土)に開催された、篠井の秋まつり・文化祭は今年も多くの方々のご来場を頂きました。センターのEV工事が終了した今年も昨年行われなかった「お茶会」も例年通り開かれ、愛好家の方たちに変な喜びました。グラウンドでは保育園や小・中学生の演技郷土芸能保存会の「お囃子と唄」そして勇壮な「さんらく太鼓」などが披露されました。特に甲子園球場でも披露された作新学院高校の吹奏楽部による行進しながら演奏するマーチングバンドや応援歌などが披

露され、来場者の拍手がやみませんでした。更に宇都宮大学で品種改良されたお米「ゆうだい21」やキノコ汁の無料配布や農産物直



売、健康相談、ふるさと食堂等様々なテントが張られそれぞれに行列ができていました。中でも昨年に引き続き開催された「こどもコーナー」で今年は「バルーンアート」の景品も追加され、風船で出来た「剣」や「お花」が好評で、子どもたちは大喜びしながら、バルーンアートの景品を持って、グラウンドを走り回っていました。皆様のご協力とご支援により無事に閉会となりました。中でももっと続けて欲しいという声を沢山聴かせていただき、スタッフ一同大変励みとなりました。ありがとうございました。
文責 出海 博之



祝 平成31年晃陽中学校区成人式

平成31年1月13日(日)ホテル丸治を会場に、晃陽中学校区の成人式が開催されました。新成人出席者は(男37・女55)でした。前半の式典は、落ち着いた雰囲気の中にも和やかな場面があり、滞りなく進行しました。地域交流事業では、記念撮影・中学校当時のDVD上映・抽選会が行われ、久しぶりの恩師や級友との再会で会場の中は終始笑顔が絶えない様子でした。(生涯学習センター)

【新成人応援制度協力企業一覧】

(有)池田防災 代表取締役 池田増三、(有)石下商店、泉タクシー(株)、宇都宮農業協同組合 北部支所、晃陽中学校同窓会、学校法人 富屋学園山王認定こども園、篠井地区社会福祉協議会、篠井地区ゆたかなまちづくり協議会、篠井保育園

園長 神崎圭子、篠井木材(有) 代表取締役 鈴木巖、篠井郵便局、(有)柴崎農機具店 代表取締役 柴崎俊幸、社会福祉法人 下野三楽園、(株)新生工業 代表取締役 櫻井英治、(有)高橋製作所、(有)滝乃金田屋 代表取締役 金田淳、(株)司緑化、(有)トータルインテリアサトウ、社会福祉法人 大門福祉会 徳次郎保育園 園長 高野順子、徳次郎郵便局、栃木県共立自動車学校、富塚メディカルクリニック 院長 富塚浩、富屋地区社会福祉協議会、富屋地区連合自治会、(有)パーク工業 代表取締役 野呂通治、お好み焼き 福来美味(ふくみみ)、ホテル丸治、道の駅うつのみや ろまんちっく村 (株)ファーマーズ・フォレスト、(有)ヤマタ 高橋材木店、ランスタッド(株) (50音順)



篠井地区防災訓練

12月2日(日)篠井地区防災訓練が平成最後の訓練として、実施されました。

日光市を震源とする震度6強の地震発生という想定のもと、訓練が開始され、先に各自治会長、社会福祉協議会長による情報伝達訓練が実施されました。

その後6班に編成され、6つの訓練項目(①資機材の取扱訓練②砂のうの作り方・積み方③初期消火訓練④起震車煙道体験⑤応急手当、簡易担架の作り方・運び方⑥心肺蘇生法AEDの使い方)を順次体験しました。その後、2部といたしまして減災をテーマ



に大垣富屋分署長さんによりまずビデオ鑑賞と講話をいただきました。その中で特に住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから、今年の



6月で10年になることから、電子部品の劣化や電池切れをおこしている恐れがあるため、こまめな作動点検や器具、電池の交換をするようにとのことでした。

その後、篠井分団第4部の消防操法の見学をし、炊き出し訓練で出来た豚汁と非常食をいただき解散となりました。災害は何時何処で何が起きるかわかりません。その為にも日頃の備えが大切です。 文責 神山 智

篠井はるな号の登録更新をお願いします。新規登録も募集中

【登録更新手続き】

平成31年4月1日の更新手続きを2月から開始いたします。現在登録されている世帯に対し、郵送により申請書をお送りいたします。

到着しましたら記載内容を確認し、登録料500円を添えて自治会長までご提出お願いいたします。

【目的施設の追加】

平成31年1月1日から「そば処石奈多」(石那田町)、「そば処しのい」(下小池町)、「篠井保育園」が新たに登録になりました。どうぞご利用ください。

「篠井はるな号」回数券をご利用ください

70歳以上の方には、バスカードと篠井はるな号回数券が選べます。どちらも1,000円で購入できます。回数券は、1,000円で17回(5,100円分)乗れてお得です。ぜひご利用ください。



【1月末現在の登録状況】

登録世帯:186世帯、利用者数19,792名 文責 大塚

石那田高竈(たかお)神社の初詣

石那田高竈神社は岡坪にあり、古くから地域の守り神、農耕の神様として祀られてきました。

神社の各種行事は和田宮司(日光市小林)をはじめとして三役、石那田8地区の氏子惣代さん達によって執り行われています。

新年の最初の行事として初詣があり、毎年役の人達は大晦日から事務所泊まり込み参拝者の対応に当たっています。



神社にもっと関心を持ってもらおうと昨年からは初詣用に絵馬を用意し、参拝客に配っています。(持ち帰って自宅に飾るタイプの絵馬です) 今年は、石那田高竈神社という焼き印が押されたイノシシの絵馬をいただきました。初詣接待で参拝客に暖かい甘酒や鍋もの等も振る舞われました。神社関係者一同の工夫と熱意が伝わってくる初詣でした。

文責 半田 聖滋

サークル紹介

平成30年4月に発足したはつらつ教室「八重のさくら」です。会員は現在10名で毎月第2火曜日に活動しています。包括支援センターの方にいろいろご指導をいただき参考しております。

このサークルの特徴は、①前が出る②よく話よく笑う③よく食べる④ダンスを多種類取り入れる等です。

興味のある方の参加をお待ちしております。

文責 染谷 彰



少年大空教室凧上げ大会開催

少年大空凧上げ大会が、1月5日(土)に篠井地区市民センターにて行われました。

晴天に恵まれましたがあまり風が無く、子供たちには厳しい大会となりました。それでも、持ち前の走力と工夫で、手作りの凧を大空高く上げていました。

文責 高橋 誠一



門松づくり

今年も門松づくりを12月25日(火)、26日(水)に、市民センターで行いました。地域内の公共施設や関係機関と今年も(公営事業所)に大きい門松を2対納めました。

毎年材料は、地域内の方々から提供されたもので作成しています。お飾りした門松はニュータウンでのドンドン焼きにお願いし、1年間の無事を祈りました。心から、御礼申し上げます。

文責 村田 清二郎



山林火災パトロール

篠井地区婦人防火クラブでは、毎年12月に消防団消防後援会、防災会、市民センター、西消防署富屋分署のご協力をいただいて地区内の「山林パトロール」を実施しています。仲根、桑原の林道から上小池・飯山・中篠井と巡回します。

山火事注意の看板の確認や付近のゴミ拾いをを行います。

今年は、横断幕の傷みがひどかったため、来年度の課題としました。

文責 福田 由美子



篠井の名所旧跡紹介
篠井の散歩道

第58回

※「しのいの散歩道」の冊子は、地区内各自
治公民館、集会所に設置してあります。
また、篠井地区市民センターの図書室に
郷土資料として蔵書登録しましたので、
貸出しできます。ぜひご利用ください。

下小池の薬師堂境内の地藏菩薩

市民センター前の道を西方に三百メートル程行ったところに薬師堂がある。薬師堂境内に「村のはずれのお地藏さんはいつもここにこみてござる」と童謡に歌われる地藏菩薩(高さ八十センチ)が建っている。

右手に錫杖、左手に宝珠を持つ姿である。地藏菩薩は、仏の位で言うところの如来の次の位の菩薩である。頭上に身を飾る宝冠を用いず、頭をまるめ法衣をまとう法師の姿をし、衆生が近づきやすい童形から、子供を守る子安地藏や子育て地藏の信仰が普及したと考えられる。農夫が牛を引いて田を耕していたとき牛が動かなくなると困ると、鼻取り小僧があらわれて身代りに牛を引いてくれたので容易に耕作することができた。その小僧は実は地藏菩薩であったというような伝説が各地方に多々ある。



地藏菩薩はお釈迦様が入滅の後、無仏の世界の間この世に出現し六道(地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上)で生死を繰り返す。そして迷い苦しむ衆生を救うため六道の入口にあつて人々を救済するという。
地藏講は、毎月二十四日で地方によっては信仰が根強く残っている。

文責 阿久津 義正

平成30年度内で各団体や個人で表彰された皆さん おめでとうございます



福祉活動
下小池(南)松寿会



教育支援活動
金堀唄保存会



防災活動
防災会



(県) 担い手育成
しのい夢ファーム



防災活動
婦人防火クラブ



(全国) 交通安全活動
大島 金六さん



(全国) 和牛改良活動
村田 隆一さん



健康づくり活動
村田 弘子さん



(県) きのご生産活動
加藤 真人さん



防災活動
防犯連絡所

【編集後記】日頃地域内で活動されている団体や個人が、県並びに市の関係機関から評価され多くの皆様を受賞されました。我々も篠井のまちづくりに今できることに力を合わせ篠井のまちづくりに頑張っていきましょう。

篠井地区データ (平成30年12月末現在)

総人口 2,459人 男:1,211人
世帯数 987世帯 女:1,248人

情報提供やお問い合わせは
篠井地区市民センターまで
電話669-2515